



平成 27 年 7 月 14 日

各 位

前 澤 工 業 株 式 会 社  
代表取締役社長 松 原 正  
(コード番号 6 4 8 9 東証第 1 部)  
問い合わせ先  
執行役員経営企画室部長 神田 礼司  
TEL 0 4 8 - 2 5 1 - 5 5 1 1

### 中期 3 ヶ年経営計画（平成 27 年～平成 29 年）について

当社グループは平成 29 年度（平成 30 年 5 月期）を最終年度とする中期 3 ヶ年経営計画（平成 27～平成 29 年）を策定いたしましたので、お知らせいたします。

#### 1. 中期 3 ヶ年経営計画策定の背景と目的

当社グループは、企業理念である「水とともに躍進し 人間らしさを求め 社会に貢献できる魅力ある企業」の実現をめざし事業を展開しております。前中期 3 ヶ年経営計画（平成 24 年～平成 26 年）においては、成長企業への転換を図るための「事業の拡大」、より強固な低原価体質を確立し競争力を強化するための「コストパフォーマンスの追求」を 2 本の柱として強力に推進し、当社グループの持続的な発展に向けた「飛躍への第一歩」として活動してまいりました。その結果、一定の成果を上げることができ、前中期 3 ヶ年経営計画においては売上高目標を達成することができましたが、利益目標等の達成度合いや強固な低原価体質の確立においては依然課題を残しております。

当社グループの主要事業である上下水道事業においては、国および地方公共団体の深刻な財政逼迫など依然厳しい事業環境が続いておりますが、一方で、高度成長期に整備された施設・設備等の老朽化に対する更新事業、地震やゲリラ豪雨に見られるような自然災害に対する防災・減災、人口減少やエネルギー問題への対応等、新たなニーズも高まってきております。

このような環境の下、新中期 3 ヶ年経営計画では、水関連企業として、更に環境関連企業として国内外に貢献し、持続的な発展ができる企業づくりをめざしてまいります。

## 2. 中期3ヵ年経営計画の概要

### (1) 基本方針

成長企業への更なる転換を図るため「事業の拡大と収益力の向上」を強力に推進します。また、最も顧客に信頼される企業をめざすため「品質向上とコストパフォーマンスの追求」を推進します。

これらにより、持続的に発展し社会に貢献し続けられる企業グループをめざします。

### (2) スローガン 「飛躍への挑戦 II」

### (3) 経営目標（連結）

単位：百万円

	平成27年5月期 実績	平成30年5月期 目標
売上高	29,045	31,000
営業利益 (利益率)	706 (2.4%)	1,550 (5.0%)

## 3. 重点施策

### (1) 事業の拡大と収益力の向上

既存事業において、高付加価値型ビジネスモデルの実現に向け、顧客ニーズを満たすソリューション提案を強化するほか、主要事業である上下水道事業において官民連携モデルを模索し、グループ一丸となった推進体制を構築します。また、既存事業と未来への成長事業の推進をより強固なものにするため、画期的な技術や考え方を取り入れて顧客ニーズと新たな価値を生み出す技術開発・製品開発を強化するとともに、価格競争からの脱却をめざします。

#### ① 高利益率確保のための既存事業の変革

ソリューション提案とグループ連携の強化

#### ② 民需事業の強化

バイオガスや農業分野における高付加価値モデルの構築

#### ③ 海外事業の推進

東南アジアにおける市場開拓、ODA案件の創出

#### ④ 顧客ニーズと付加価値を重視した製品開発・技術開発・市場開発

### (2) 品質向上とコストパフォーマンスの追求

ユーザーが当社製品を購入していただくことは、その製品の「機能」、「性能」、「効果」を購入していただくことと捉え、納期や物流、各種検査、据付などの現場対応、工事全般、営業のフォローに至るまでの全生産プロセス・全業務プロセスにおける品質をさらに向上することにより、「最も顧客に信頼される企業」をめざします。

#### ① トータルコストダウンのさらなる追求

#### ② 全生産・全業務プロセスにおける品質向上の追求

#### ③ 業務改善の推進

### (3) 経営基盤の強化

#### ① コーポレートガバナンスの充実

#### ② 「創造と変革」を実現する人材の育成と活性化

#### ③ リスクマネジメントの充実

#### ④ 財務体質の強化

以上